

心豊かに
生涯学習

中之町コミセンだより

第260号

中之町コミセンの利用再開について ご報告とお願い



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中之町コミセンは臨時休館していましたが、5月20日から一部の利用を再開しました。6月1日からは全面的な利用再開をしています。

利用再開にあたりまして、利用者みなさんには、新型コロナウイルス感染症への対策として、右の枠内に書きましたようなことを守っていただきますようお願いいたします。

【基本的な注意事項】

- 発熱や、軽度であっても咳・喉頭痛などの症状があるなど、体調の悪い方は入館を控える。
- マスクを着用する。
- 入館時や利用中は、手指のアルコール消毒、こまめな手洗いをする。
- 利用中は、人と人の間に十分な間隔（約2メートル）を確保する。
- こまめな換気を心がける。
- ゴミは袋に入れて縛るなどして、各自で持ち帰る。
- 食事の際は、会話を控え、短時間で済ませよう心がける。
- 来館の際や入館後も、できる限り「密集」「密接」「密閉」を避ける。
- 利用後は使用した場所の消毒をする。

《コミセン利用団体の皆さまへ》

★利用団体年次総会開催のお知らせ

日時：6月24日（水）13:30～1時間程度

場所：2階 集会室で行います。

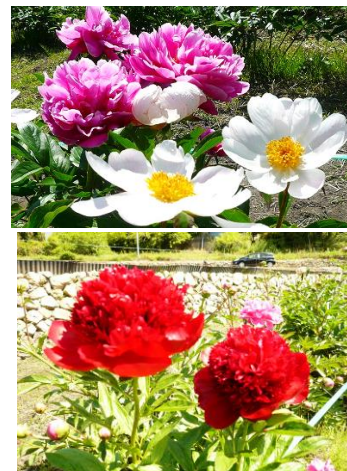
（※）年会費 1,000円を持参ください。

★「春の全館清掃」は中止します。

各自で、使用する部屋の清掃には

一層心がけて頂くようお願いいたします。

中之町光谷のシャクヤク園 コロナに負けないで咲きそろいました



中之町光谷（みつだに）のシャクヤク園。今年も畑一面に色とりどりの花が咲き誇りました。ここ数年は中之町の隠れた名所として、例年5月中旬の開園式ごろには延べ千人以上もの方が見物に訪れるまでになっていましたが、今年は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開園式典は中止。でも近所の方や、散歩がてらに足を延ばして、絢爛と咲き乱れる花を愛でてから帰るという町民は多いようです。

地域の文化史を訪ねて

「深町太鼓踊り」(前篇)

新型コロナウイルス感染拡大防止策の一つとして「市所有施設の休館」措置が行われ、中之町コミセンも4月15日以降、休館状態が続いています。館内での諸処の講座・団体の活動が出来ないので、「コミセン便りの紙面も寂しいことになるかなア…」と思っていたのですが、地域の方たちから「中之町や深町に伝わる、様々な伝承文化を訪ねるだけでも、結構面白い話が聞けるよ」とアドバイスがありました♪

実は過去にも幾つか、地域の伝承文化活動取材させて頂いたことがあるのですが、この機会に系統的にコーナーを設けようと一念発起。まずは深町を代表する「太鼓踊り」（平成27年、三原市の無形文化財に登録）からご紹介します。お話を頂いたのは「深町太鼓踊り保存会」代表の西本薫さん。

太鼓踊りは、深町が御調郡深田村といわれる当時から伝わる「雨乞い」神事的一种です。戦後あたりからは青年団を中心に、祭りの時期には深町の各戸を廻って、玄関先で鐘と太鼓でお囃子を舞い、頂いたご祝儀で青年団の結末のための(?)宴を開くというような、「お祝い」と「村内の絆の強化」という色彩を帯びてきました。盆踊りの時などは14日の朝から準備と「前触れ」で一日中、15日の本番で一晩中、撤収で一日、前後3日間も太鼓踊りを中心とする青年団（男子）が家にも帰らず踊り歩き飲み歩きしていたので、「嫁は実家に里帰りも出来ん！」と、女性陣からは大変不評だったそうです。そんな太鼓踊りに、昭和50年代後半ごろから暗雲が垂れ込めます。（後編に続く）



保存会の「はっぴ」姿の西本さん。
太鼓を打つときのポーズをとってもらいました。